北海道遺産だより

NPO 法人北海道遺産協議会
北海道遺産情報紙 Vol.10
2013 年 7 月 8 日発行

「北海道遺産だより Vol.10」をお届けします

新年度に入りました。心機一転、今年度もどうぞよろしくお願いします。
今号では、新会長のご挨拶、平成 25 年度総会の様子、そして、地域のイベント情報などをお伝えします。

協議会の活動 ― 石森秀三新会長　就任ご挨拶



今年 1 月 15 日に辻井達一・前会長が逝去されました。

辻井先生は昨年、ラムサール賞を受賞されるとともに、瑞宝小綬章を受章されるなど、その功績が高く評価されていただけに哀惜の念に堪えません。

会長が空席になりましたために、今年 6 月 3 日に開催された理事会におきまして、私が後任の会長に選出されました。浅学非才の身ではありますが、だれかが辻井先生の御遺志を受け継がねばなりませんので、真に僭越ながら会長職を受けさせていただきました。

次の世代に引き継ぎたい北海道の大切な宝ものとして、2001 年と 04 年に道民参加の下で北海道遺産の選定が行われ、現在 52 件が選定されています。これまでにさまざまな活動が展開されてきましたが、一方で解決すべき課題を抱えていることも事実であります。今後、北海道遺産の再評価を行うとともに、追加選定を検討し、地域との関係強化を図る必要があります。また活動資金につきましても、現在のところ、イオングループの社会貢献の一環としての「ほっかいどう遺産 WAON」カードによる御寄附に大きく依存している点を改善していかねばなりません。

今年 6 月に「富士山」が世界文化遺産として登録されることが正式に決まりました。世界遺産はグローバル・ブランドであり、マスメディアが大々的に取り上げるために、大きな話題になります。されど本当に大切にされるべきは日本各地で幾世代にもわたって受け継がれてきた文化遺産であります。グローバル化が急速に進展するなかで、日本の伝統文化は軽んじられ失われ続けており、危機的状況にあります。世界遺産も重要ですが、地域の文化遺産こそもっともっと大切にされるべきです。

それぞれの地域で北海道遺産を守り、育み、活用していくなかで、新しい魅力をもった北海道を創りだしていくために尽力いたしますので、何卒宜しく御指導、御鞭撻を賜わりますように心よりお願い申し上げます。

協議会の活動 ―― 平成 25 年度　通常総会を開催しました

2013 年 6 月 21 日（金）に、NPO 法人北海道遺産協議会平成 25 年度通常総会を開催しました。

まず、事務局より会長の選任について報告を行い、新会長からの就任あいさつのあと、平成 24 年度事業報告・収支決算報告、平成 25 年度の事業計画案、収支計画案について審議が行われ承認されました。

なお、新年度事業計画では、プロジェクトチームを発足し北海道遺産の入れ替えをも念頭に置いた 52 件の再評価を行うことが盛り込まれ、全体に「動き」を持たせる、新たな北海道遺産活動のスタートが宣言されました。また、総会に出席した各遺産所在地域の方々から各地域における北海道遺産の保全・活用に関する現状や課題を伺い、意見交換・情報共有が行われました。

● H24 年度　事業報告（概要）●

（1）普及啓発活動事業
- ラジオ「まち、ひと、めぐり。北海道遺産」提供
- 「北海道遺産ＤＶＤ」と「公式ガイドブック」の販売
- 「北海道遺産」映像コンテンツの提供
- 「ニュースレターの発行」（年３回）
- 「ホームページ・メーリングリスト等での情報発信と管理運営」
- 「イベントへの参加・展示ＰＲ」
- 「その他ＰＲ活動　（メディア出演・講師派遣など）」
- 「企業・団体などによる北海道遺産の活用・紹介及び北海道遺産・ムラの宝物ロゴマークの活用」

（2）地域活動促進支援事業
- 「地域情報の収集および発信」
- 「北海道遺産を学ぶ講座」（10 月）

（3）保全活用推進事業
- 「ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト」

◇平成 24 年度会員実績

・個人正会員	９人９口	・個人賛助会員	33 人 37 口
・団体正会員	35 法人 44 口	・団体賛助会費	９法人 28 口



▲平成 25 年度総会　当日の様子



▲遺産選定地域の方々との意見交換

● H25 年度　事業計画（概要）●

（1）普及啓発活動事業
- 北海道遺産情報発信アプリの制作

  遺産所在地域と連携して、スマートフォンを活用したまちの情報発信アプリを制作。本年度は、制作に必要な地域の情報収集・整理を行う。
- リーフレットのリニューアル　・Web 等での情報発信と管理運営　・その他 PR・会員サービス

（2）地域活動促進支援事業および地域とのタイアップ事業
- 「北海道遺産地域活動支援」

  イオン北海道、マックスバリュ北海道からの寄付金を活用し、北海道遺産所在地域の遺産保全・活用事業 10 件に助成。寄付金の贈呈式等のイベントも実施。また、助成先団体の活動紹介パネルを作成し、イオン店舗等で展示を行う。
- 北海道遺産交流会議の開催（10 月頃）
- 北海道遺産満足度向上プロジェクトの発足

  北海道遺産来訪者、受け入れ側、双方の満足度を高め、北海道遺産をブランド化していくための必要方策について検討を行うプロジェクトチームを発足させる。メンバーは大学の研究者、関連企業等の若手を想定。

（3）保全活用推進事業（ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト）

企業からの寄付 ― 助成対象となる活動を選定しました

イオン北海道株式会社様、マックスバリュ北海道株式会社様より、北海道遺産の保全活動への支援を目的として発行された「ほっかいどう遺産 WAON」による寄付金と、株式会社伊藤園様の「お茶で北海道を美しく」キャンペーンによる寄付金を活用した、北海道遺産の保全・活用をする活動への助成について、助成対象の活動を下記のように選定いたしました。

「ほっかいどう遺産WAON」による助成活動（10 件）

○そらちの炭鉱遺産と小樽・室蘭とを結ぶ「炭鉄港 2013」キャンペーン
○食育イベント「石狩鍋から学ぶ食と歴史」
○「苗穂カフェ」をガイドセンターとした北海道遺産巡りルートの設定とガイドパンフの作成
○「歌才ブナ林」を伐採の危機から救っていただいた館脇操先生の功績の展示活用事業
○学術的・科学的な研究に基づく植物性十勝川モール温泉「新十勝川温泉湯けむり紀行」のＰＲ宣伝広告用ツールの作成
○会津藩蝦夷地御領分標津元陣屋創建 150 年事業
○北海道遺産「森林鉄道蒸気機関車雨宮 21 号」活用プロジェクト
○アイヌ伝統工芸に関するパンフレット制作等による広報活動
○「イランカラプテ（こんにちは）」からはじめよう！白老町「イランカラプテ」キャンペーン
○北海道遺産めぐり日帰りバスツアー（仮称）

「お茶で北海道を美しく」キャンペーンによる助成活動（6 件）

○ダウン・ザ・テッシ－オ－ペッ 2013 開催事業
○登別温泉地獄谷施設維持管理業務
○北黄金貝塚における縄文の森の案内板の作成
○旧糠平駅構内に桜、もみじの植栽事業
○野付半島の遊歩道景観美化活動
○小清水原生花園火入れ活動

おでかけガイド ― 北海道遺産・ムラの宝物関連イベントなど

第２４回名水の里きょうごくしゃっこいまつり（京極町）

羊蹄山の麓、「名水の里」として親しまれるふきだし公園で行われます。夏を涼しく過ごすおまつりです。

・日にち：７月 14 日（日）
・問合せ：しゃっこいまつり実行委員会事務局（0136-42-2111）

最新情報はこちら
京極町ホームページ
→ http://www.town-kyogoku.jp/

第８回北海幹線用水路ウォーキング（美唄市）

水をたたえた用水路を眺めながら歩くコースは、１０ｋｍ、７ｋｍ、３ｋｍの３コース。新鮮野菜等が当たる大抽選会や新鮮農産物販売もあります。

・日にち：７月 28 日（日）
・問合せ：北海土地改良区「ウォーキング事務局」（0126-22-2400）

最新情報はこちら
北海土地改良区ホームページ
→ http://www.midorinet-hokkai.jp/

ポロトコタンの夜（白老町）

白老のアイヌ民族に伝わる伝統的な「祈り」「歌」「踊り」「食文化」を夜の幻想的な雰囲気の中で体験していただくアイヌ民族博物館独自の特別プログラムです。

・日にち：８月３日（土）、４日（日）、９日（金）、10 日（土）、11 日（日）、17 日（土）
・問合せ：アイヌ民族博物館（0144-82-3914）

最新情報はこちら
アイヌ民族博物館ホームページ
→ http://www.ainu-museum.or.jp/

江差姥神大神宮御渡祭（江差町）

北海道で最もふるいお祭りのひとつといわれ、豪華な 13 台の山車（ヤマ）が、吹き流しや錦の御旗をひるがえし、流暢な祇園囃子の調べにのって町内を練り歩きます。

・日にち：８月９日（金）～ 11 日（日）
・問合せ：姥神大神宮祭典協賛実行委員会（0139-52-4815）

最新情報はこちら
江差観光コンベンション協会ホームページ
→ http://www.hokkaido-esashi.jp/ubagami/index.htm

ニュース　「北海道遺産 JACCS カード」が発行されました

株式会社ジャックスより、“北海道を愛する人のためのカード”をコンセプトとした『HOKKAIDO I（アイ）CARD』が発行されました。

『HOKKAIDO I CARD』は、株式会社ジャックスが、カード事業を通じて北海道を応援したいという想いで開発した地域応援型のクレジットカードで、カードショッピングご利用金額の 0.2%が、北海道遺産協議会に寄付され、北海道遺産の保全と普及の取り組みに活用されます。



北海道遺産 JACCS カード「摩周湖」バージョン

詳しくはこちら→　株式会社ジャックスホームページ　http://www.jaccs.co.jp/hokkaido_aflp001/index.html

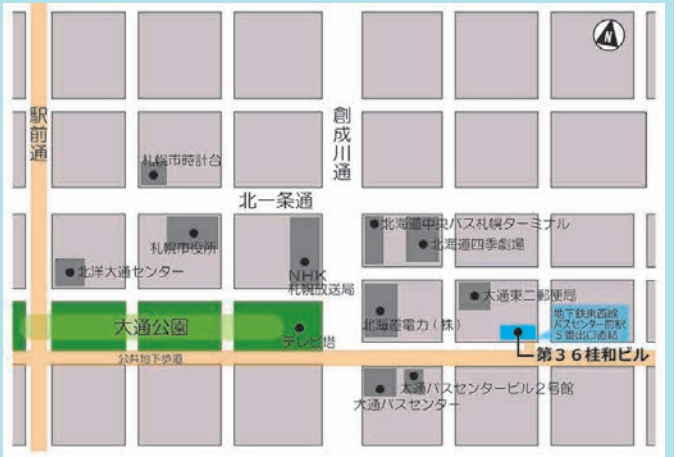
事務局だより

お知らせ　協議会事務局が引っ越しました

このたび、北海道遺産協議会事務局を設置している、株式会社ノーザンクロスの事務所移転に伴い、北海道遺産協議会事務局も移転いたしました。

電話番号・ＦＡＸ番号に変更はありません。

＜新住所＞
〒０６０－００４１
北海道札幌市中央区大通東２丁目３番地１
　第３６桂和ビル７階
（札幌市営交通地下鉄東西線バスセンター前駅・５番出口直結）
電　話：０１１－２１８－２８５８
ＦＡＸ：０１１－２３２－４９１８
※電話番号・ＦＡＸ番号とも変更はございません。



★編集後記★

事務局も引越しで心機一転、新会長も就任し、新しい北海道遺産の活動がスタートする新年度となりました。今年度は、今までの活動で得られた遺産選定地域の方々との縁を深めながらも、52 件の北海道遺産について再評価を進め、「まちの宝物」を守り育てていく、次の世代の担い手探しが始まる年になりそうです。
事務局もますます頑張りますのでどうぞよろしくお願いします。

NPO 法人北海道遺産協議会
〒060-0041　札幌市中央区大通東 2 丁目 3-1 第 36 桂和ビル 7 階
TEL：011-218-2858 ／ FAX：011-232-4918 ／ E-mail：info@hokkaidoisan.org